

スポーツドクターの道へ「志」

日野市立日野第五小学校 六年 松島 清夏

二〇二一年七月二十三日午後八時、東京オリンピックが始まった。私は、スポーツ観戦が大好きだ。だから、この日をとても楽しみにしていた。そしてこの日は、私にとって、忘れられない日となった。

テレビでソファに座り、開会式を見ていた。日本に世界中の選手たちが集まってきたと思うと、嬉しく、オリンピックのすごさがますます大きくなる。そして、各国の選手が入場するとき、多様性が感じられ、私は、「実際に見てみたいなあ。」

と、ボンッと呟いた。その時、母親に「スポーツドクター」という仕事を教えてもらった。

スポーツドクターという仕事を始めて知った私は、とても興奮していた。今まで、将来の夢がなかなかしっくりこなく、大人になったら何をしたら良いのだろう、と悩んでいた。しかし、この仕事には、

名前だけでも興味を持ち、自分に合うと思っただ。

その日から、スポーツドクターの仕事とは何なのか、調べてみた。そうすると、選手の健康状態を守るために、さまざまなことをすることが分かった。オリンピック以外の大会でも、仕事があるそうだから、精神的な状態を保つこともスポーツドクターの仕事らしい。縁の下の力持ちのようだなと思った。裏でオリンピックを支えて、世界の平和にこうけんしたいと、強く思った。

仕事について分かったところで、ライフプランを書いてみることにした。今、私の目標は、中学受験に受かるという、小さいものだったと気がついた。受かって何をしたいのか、ということが最も大切なことなんだな、と初めて感じた。また、ライフプランを書いているうちに、スポーツドクターになるという大きな目標の達成のためには、たくさん時間や

お金がかかることにも気がついた。もつと簡単だと思っていたので驚いた。自分でもできるか不安になった。しかし、それで夢を変えてはいけなと思う。だからこそ、たくさん努力していきたいと、心に決めた。

そして、ライフプランが完成。夢に向かってやっていくうえで、頑張りたいこともたくさん書き込んだ。このライフプランは、今、小学六年生の気持ちや思いを残すものとして、大切なものだろうと感じた。

きつともくはないこともあるだろう。できないこともあるだろう。しかし、そんな中で、あきらめずに今できること、今やるべきことからやっていくことが大切であると思う。私はある漢字を見つけた。

「志」
この漢字は私の思いを一つにしている気がする。自分ならできそう。そう思って、夢に向かって頑張っていきたい。「私がオリンピックをより良くし、世界の平和にこうけんするぞー。」

オリンピック・パラリンピックが、スポーツの国日本の開きを通じて、好きになりました!

松島 清夏のライフプラン

将来なにになりたいか?

スポーツドクター

その理由: オリンピック・パラリンピックやその他のスポーツ大会に出場する選手を支えたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール (①医者にあがっているから。)

苗(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	12才(小6)	中学受験に向けて勉強する。お金の準備もつける。学校を乗換える。	学校、塾代
2022年	13才(中1)	中学に入学。バスケット部に入る。英語の勉強を積極的にやる。	学校代、勉強のための本代
2023年	14才(中2)	人体について詳しく勉強する。色々なスポーツを見よう。	
2024年	15才(中3)	スポーツについて、勉強する。	
2025年	16才(高1)	スポーツドクターになるための方法を一度確認。	
2026年	17才(高2)	大学受験勉強	
2027年	18才(高3)	受験	
2028年	19才(大1)	東京大学医学部に入る。医師免許をとるために勉強	大学代
2029年	20才(大2)	夢をあきらめないうちにかんがえる!	
2030年	21才(大3)	効率を重視!	
2031年	22才(大4)		
2032年	23才(大5)		
2033年	24才(大6)	医師国家試験合格	
2034年	25才	研修医 研修医として勉強	勉強代
2035年	26才	日本医師会認定スポーツ医(講習会を修了)	
2036年	27才	さらに勉強する。	
2037年	28才	オリンピックの大会ドクターとして出場する!!	

東京オリンピックの開会式の際に、母がこのような仕事があることを聞きました。

スポーツドクターに必要な子分の資格

- ①日本医師会認定スポーツ医
- ②日本体育協会公認スポーツドクター
- ③日本整形外科学会認定スポーツ医

世界の国々について、調べてみよう



こんなかたいな♡



志の心を大切に

月に1回しか見て集計する!!

夢をかき取るためのポイント

- ・楽しんでやること。
- ・失敗しても立ち上がる。
- ・どんなことをやれば、スポーツドクターになれるか確認する。
- 成長すれば分かること増える!!

その年やがきことに集中しよう

ここまで、3つの資格をとる(右の方のもの)

※最後の行は、荷物の時になんてなっていたらいいか、自分で好きな年を入れてみましょう!

おしんもコミュニケーション能力も、オリンピックの力をつけておこう!!